

福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会

&公開講義の仲間たちからの熊本地震被災者支援金の配分報告

2016年4月 熊本県地域福祉実践研究会／くまもと福祉のラウンドテーブル

◆◇いきさつ◆◇

森枝敏郎が、4月16日の「福祉と医療・現場と政策の新たなえにしをつなぐ会」(裏方：志の縁結び係&小間使い、ゆきさん、大熊由紀子教授)に出席するため、前日からの東京入りの予定で準備を終え、テレビニュースを見ていた21時26分、震度7の「平成28年熊本地震」が発生し、残念ながら出席できなかった。森枝は、ゆきさん担当の国際医療福祉大学院公開講義『「負担」から「希望」へ』をweb受講中。このような「えにし」から

◆「えにしの仲間たち」義捐金=186,736円

「えにしの会」の場で急遽、写真のように募金。

◆「公開講義の仲間たち」義捐金=41,830円

森枝が被災し、避難所(広安愛児園)、車上、一時帰宅の三重生活中にもかかわらず、web受講していることを知って、公開講義聴講生が募金。

合計 228,566円



◆◇担当窓口及び選定員等◆◇

森枝が窓口として担当しているが、熊本県地域福祉実践研究会、くまもと福祉のラウンドテーブル関係者である小田勝範熊本県福祉総合相談所次長等の意見を反映

◆配分の方針

熊本県地域福祉実践研究会やくまもと福祉のラウンドテーブルとのかかわり、利用者や施設、職員の被災状況、また地域の被災者や他の施設の支援状況等を総合的に勘案し、配分額を決定。

◆被災状況、支援状況及び配分額

<被災状況・被災者支援活動>

<配分金額>

①小規模多機能ホーム・地域ふれあいホーム「いつでんきなっせ」（代表 川原秀夫）

～熊本県内における認知症ケアの最後の砦

→小規模多機能ホームの被害状況

エコキュート2台破損、トイレ2台破損、壁の亀裂多数

→ふれあいホームの被害状況

瓦が多数落ち雨漏り→ブルーシート中、内壁の滑落、亀裂、外壁の亀裂多数

食器棚破損、書籍棚破損、エアコン2台落下、テレビ2台破損

☆全国小規模多機能事業者連絡会代表として、被災した小規模多機能ホームの支援拠点

としてフル稼働

80,000円

②障がい者支援施設「西原たんぼぼハウス」（施設長 上村加代子）

～障がい者支援+困窮者支援+子ども食堂等＝地域の縁がわモデル

→壁に亀裂、機材破損

☆被災した在宅利用者、スタッフとも泊まり込みをしながら村指定の避難所「西原中学校」の食事支援を担当～役場や社協との連携が良い。

※全国のボランティア支援も多数来訪、対応に追われている。

70,000円

③グループホームせせらぎ（上益城郡甲佐町）（施設長 高橋恵子）

～グループホーム協会熊本県支部長、熊本県地域密着サービス連絡会事務局

→門の倒壊、屋根天井の破損

☆グループホームのリーダーとして、県内被災施設を

30,000円

④発達障がい者当事者会リルビット（顧問 山田裕一）

☆避難所に行けない、ひきこもりになる等の特性を把握

している当事者会自ら被災した発達障害者を支援

10,000円

⑤発達障がい当事者会シェアハート（代表 井上裕介）

⑤と同様、食事会も開催

10,000円

⑥児童養護施設「広安愛児園」の子どもたち

☆避難者への給食を元気よく手伝い

10,000円

⑦予備費（今後判明する良き活動に配分する）

10,000円

⑧諸経費（交通費等）

8,566円

<合計>

228,566円

震度7の熊本県益城町の森枝敏郎さんのフェイスブックでの報告から

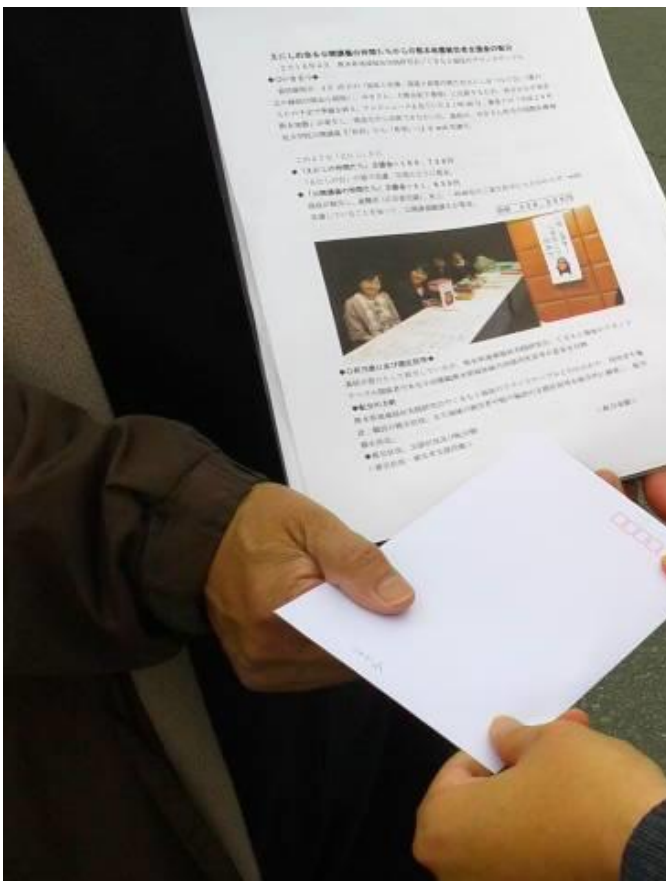
★5月7日(土)★・たんぽぽハウスさんと。

★えにしの会&公開講義の仲間たちからの被災者支援金★

・福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会(4月16日:森枝の参加断念)及び国際医療福祉大学院公開講義(森枝がweb受講)の場で急ぎ準備された「くまもん募金箱」に投げられた温かい支援金が届いた。

・先週から、自ら被災を受けながらも必死で被災者支援をしている施設や団体に対し支援金を届けているが、大変なご苦労の中で笑顔を頂き、私の方が元気づけられている。

・えにしの会&公開講義の皆さまありがとうございます。ごぞいます。



☆5月8日(日)☆

午後は、発達障がい当事者会の月例会に参加

- ・途中、「えにしの会&公開講義の仲間たちからの支援金」を差上げた。
- ～「ありがとうございます。大切にに使わせて頂きます。」とのメンバーの言葉。



☆5月11日(水)☆

- ・甲佐町に入って、目的のグループホームせせらぎに近づくと、一帯は麦秋が綺麗～平常ならこの風景を眺めながらカフェしたい気分
 - ・せせらぎに到着すると屋根はブルーシート(涙)
 - ・ここはグループホームに「地域の縁がわ」のような空間も併設する多機能型で、もう一つの拠点「ほたる」とともに在宅支援にも熱心
 - ・自ら被災しながらもグループホーム協会熊本県支部長、熊本県地域密着サービス事業者連絡会事務事務局等も務め、多施設の支援や地域の被災者支援にも奮闘中。
- ★そこで、少しでもと思い「えにしの会&公開講義からの支援金」を届けた。
- ・写真は代表の高橋恵子さんと

